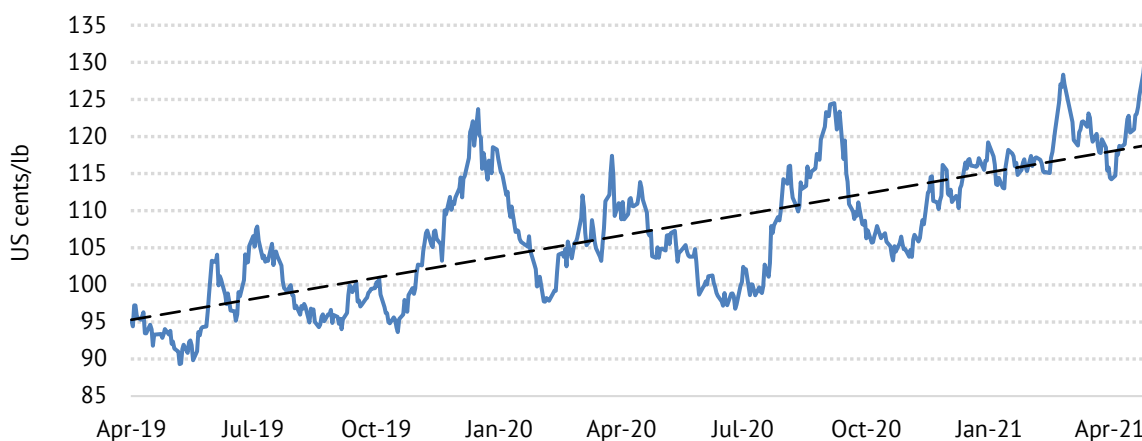




コーヒー生産量の減少が予想され、新型コロナウイルスパンデミックから景気回復の兆候が見られる中、 2021年4月のコーヒーの価格は上昇した。

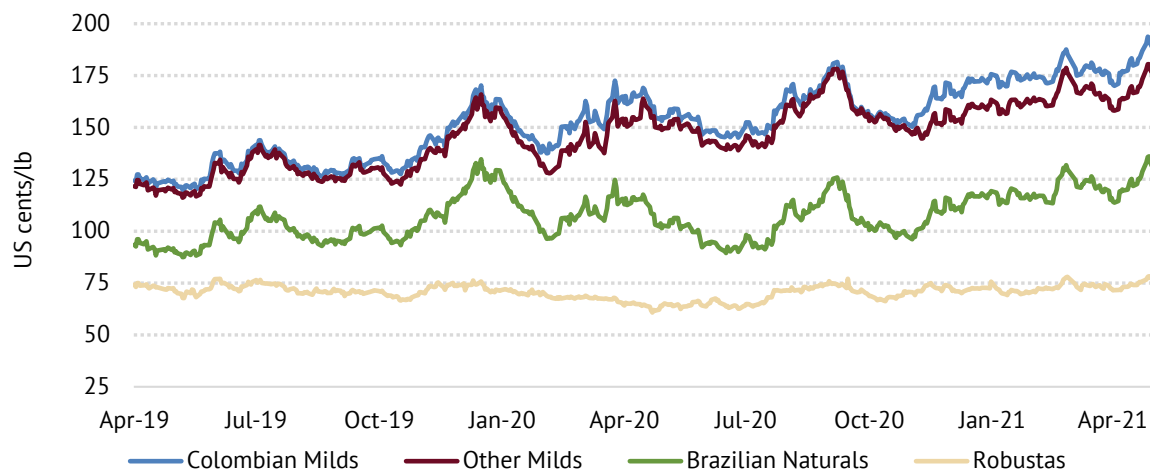
2021年4月は全てグループ指標価格が上昇したことから、ICO複合指標価格は1.4%上昇し122.03セント（USセント/ポンド、以下同様。）となった。過去6か月間、コーヒー価格は数回の下げ局面があったものの、月次平均では着実な上昇を見せている。比較的堅調な価格が販売を後押しし、2021年3月の世界コーヒー輸出量は1,190万袋で2020年3月に対し2.4%増加した。2020/21コーヒー年度上半期の輸出量は3.5%増の6,540万袋、一方、前年同時期は6,320万袋である。ただし、2020年4月から2021年3月までの累計輸出量推計は1億2,950万袋（暫定値）で、前年同時期の1億3,080万袋に対して1%減少している。2020/21年度の世界消費量は1億6,634万袋と予測され、2019/20年度の1億6,420万袋に対し1.3%の増加が見込まれる。ICOは、ブラジルの2021/22年アラビカ生産の減少に伴い、生産量予測を下方修正した。しかしながら、2020/21年度の世界消費量は総生産量1億6,963万袋を2%下回る見込みである。

図 1: ICO複合指標価格



2021年4月のコーヒー価格は上昇傾向を続け、ICO複合指標価格の月次平均は122.03セントを付けた。2021年3月に対し1.4%高く、2020年4月に対しては12%高い。月次平均は6か月継続して上昇を示し過去3年半で最高の水準である。2021年4月の日次複合指標価格のレンジは114.22～130.87セントだった。図1に見られる通り、2020年10月のコーヒー年度開始以来、毎月連続して上昇している。消費量と生産量の不均衡は縮小しており、市場のファンダメンタルズは現在の価格動向の主要推進力の1つと言える。ブラジルの生産量は2021/22クロップが裏年であるため30%以上減少すると予測されることから、アラビカ供給は近い将来のタイトが予想されている。さらに、パンデミック対策としての、特に人の移動に影響を与える様々な制限が、近い将来、段階的に緩和されることが見込まれている。

図 2: ICOグループ指標価格



全てのグループ指標の月次平均価格が2021年4月に上昇した。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルは2020年10月以降、着実な上昇傾向を見せている。コロンビアマイルドは2.4%上昇し181.70セント、ブラジルナチュラルは1.7%上昇し124.18セントである。アザーマイルドは2020年11月に下落したがその後は上昇傾向に戻り、2021年3月の167.05セントに対して2021年4月は1%上昇の168.65セントとなった。コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は25%拡大して13.05セントである。アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差は0.9%縮小している。ロブスタ価格は2020年10月以降は一進一退で、2021年3月の73.86セントに対して4月は0.8%上昇し74.47セントだったが、この水準は2020年4月の63.97セントからは16%高い。コロンビアマイルドとロブスタの価格差は3.5%拡大して107.23セントだった。

2021年4月のニューヨークとロンドンの先物市場で測定されたアラビカとロブスタのアービトラージは4.7%拡大し71.01セントだった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場の

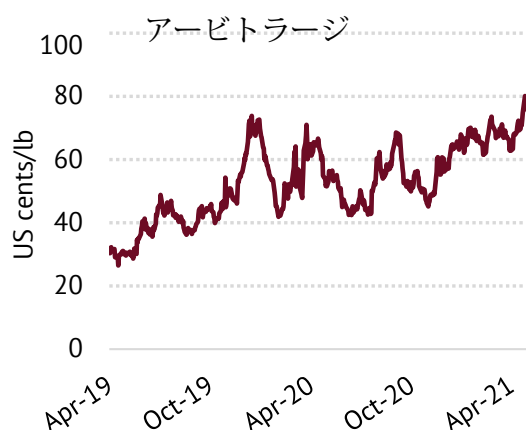


図 4: ICO複合指標価格のボラティリティ



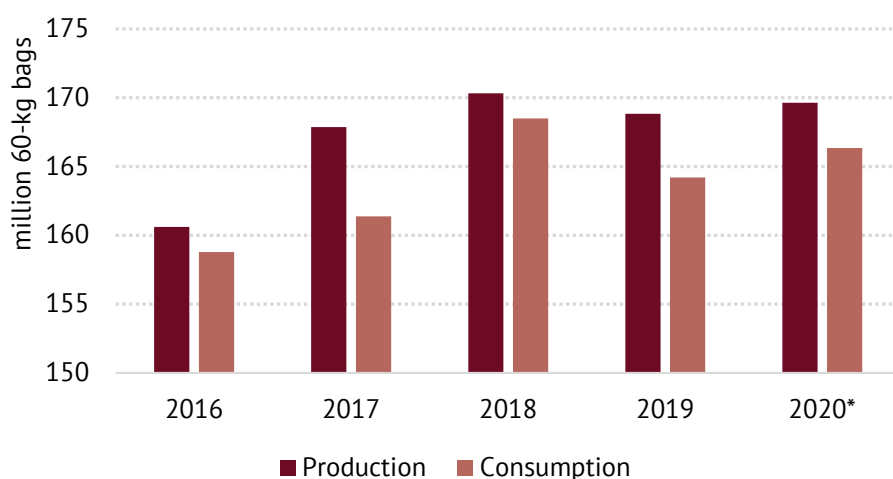
ICO複合指標価格のボラティリティは2021年3月の7.7%から4月は7.3%に低下した。全てのグループ指標価格のボラティリティが低下したが、特にロブスタは過去最大の低下1.1ポイントを記録した。ロンドン先物市場のボラティリティは2021年4月に1.5ポイント低下し7%だが、ニューヨーク先物市場は2021年3月と同レベルの9.3%で変化は見られない。

2021年4月のニューヨーク先物取引所のアラビカ認証在庫は207万袋、ロンドン先物取引所のロブスタ認証在庫は253万袋で、それぞれ5%と1%増加した。

2020/21コーヒー年度の総生産量は0.5%増の1億6,963万袋と推定され、うちアラビカは2.6%増して9,942万袋、ロブスタは2.4%減の7,021万袋と見込まれる。地域別の生産量見込みは、アフリカが前年度の1,868万袋に対して2020/21年度は0.8%減の1,854万袋、アジア・オセアニアが2019/20年度の4,948万袋に対して2020/21年度は1.1%減の4,895万袋、メキシコ・中央アメリカが2019/20年度の1,956万袋に対して0.1%減の1,954万袋と予想されている。南米の生産量は2019/20年度の8,112万袋に対して1.8%増の8,259万袋が見込まれる。

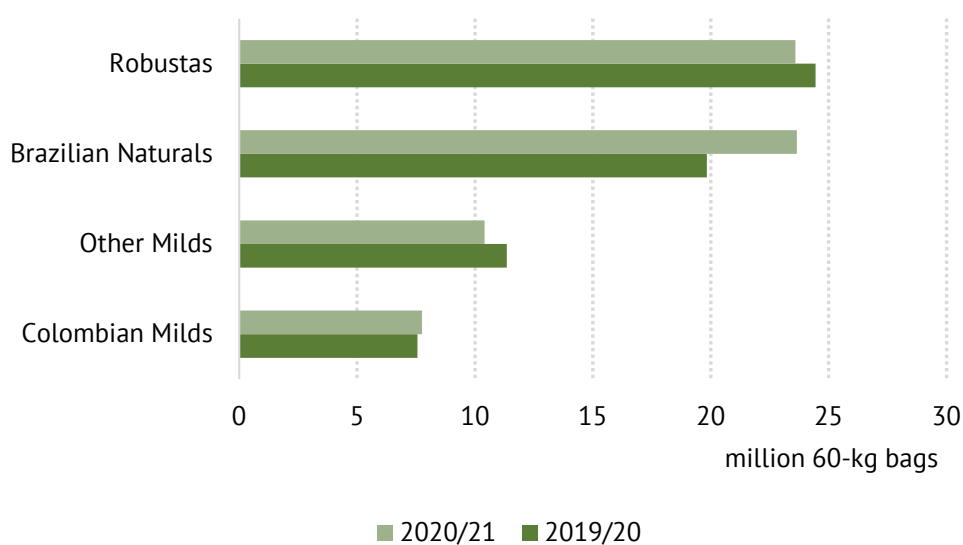
世界のコーヒー消費量は、2019/20年度の1億6,420万袋に対して2020/21年度は1.3%増の1億6,634万袋と予測されている。消費傾向は通常の状態に戻る過程にあり、covid-19パンデミックにより発生した2019/20年度でのコーヒー消費への悪影響は薄れつつある。輸入国の消費と輸出国の国内消費は、それぞれ1.3%と1.4%の増加が見込まれる。アフリカ地域の消費量は1.8%増の1,224万袋、アジア・オセアニアは1.4%増の3,650万袋、メキシコ・中央アメリカは0.7%増の536万袋が予想されている。その結果、消費量に対する生産量の超過は前年の460万袋から328万袋に減少が見込まれる。

図 5: 生産量と消費量（コーヒー年度）



2021年3月の世界のコーヒー輸出は2020年3月の1,166万袋に対し1,194万袋だった。2020/21年上半期では6,540万袋に達し、前年同時期の6,320万袋から3.5%増加した。コロンビアマイルドの2020/21年度上半期輸出量は2.6%増の775万袋、一方、アザーマイルドは前年同時期の1,135万袋から8.3%減の1,040万袋だった。ブラジルナチュラルの2020/21年度上半期輸出量は前年同時期の1,984万袋に対して19.2%増の2,366万袋である。また、ロブスタは3.5%減の2,359万袋だった。

図 6: コーヒー年度上半期の輸出量（グループ）

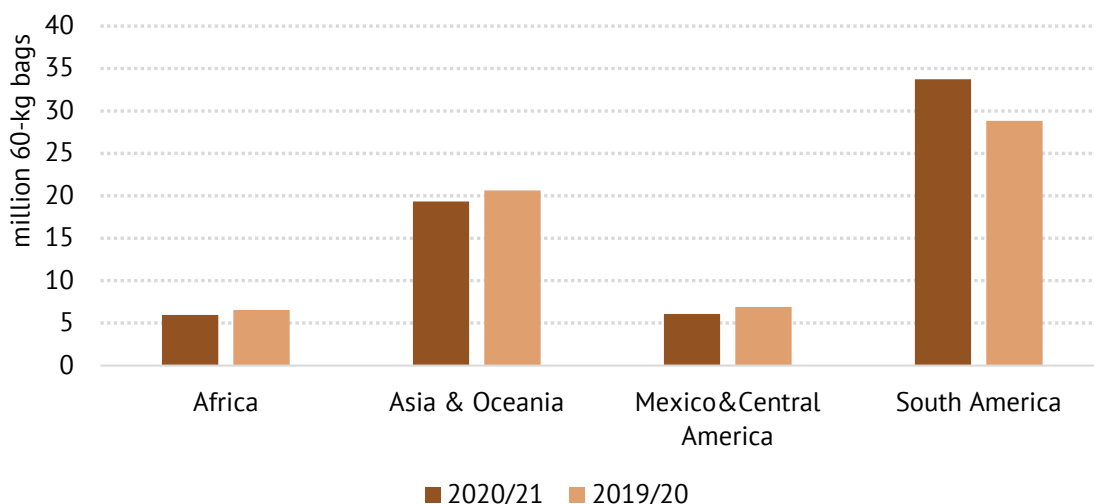


輸出の増加は主に生豆でコーヒー年度上半期では前年同時期に対して4.3%増の5,932万袋となった。焙煎コーヒーは推定4%減の336,172袋、ソリュブルコーヒーは3.4%減の572万袋だった。

2020/21年度上半期の地域別では、**アフリカは全形態のコーヒー輸出が減少し地域合計で8.9%減の596万袋**だった。エチオピア、コートジボワール、ケニアの輸出は、それぞれ28.5%、49%、9.5%の減少である。地域最大の輸出国ウガンダは11.5%増の280万袋を記録した。なお、2021年3月のウガンダの輸出量は572,839袋で1か月の輸出量としては過去最大、また輸出金額は5,355万米ドルを超えたことは特記される。

アジア・オセアニアの2020年10月から2021年3月までの輸出は6.3%減の1,930万袋だった。この期間のベトナムの輸出は13.2%減の1,258万袋、インドネシアは20.2%増の370万袋である。地域3番目に生産国であるインドの輸出は前年度同時期の256万袋に対して0.5%減の255万袋だった。

図 7: コーヒー年度上半期の輸出量（地域）



メキシコ・中央アメリカの輸出は2019/20年度前半6か月と比較すると12.2%減の606万袋で、地域の一部にはハリケーンイオタとイータの深刻な影響が残っている。特に、地域最大の生産国であるホンジュラスの輸出は20.9%減の219万袋、またニカラグアは12.7%減の105万袋である。グアテマラは15.9%減の105万袋、コスタリカとエルサルバドルはそれぞれ7.2%と28.2%減少した。しかしながら、2021年3月単月で807,506袋を輸出したホンジュラスは2020年3月に対して4.5%増であり回復の兆候がここ数か月に観られる。

南米の2020年10月から2021年3月までの輸出は17%増の3,374万袋だった。この期間中、ブラジルはコーヒー全形態で輸出が増加し全体では23.3%増の2,466万袋である。ブラジルはアラビカ生産の表年である2020/21クロップの終盤にある。コロンビアは3.5%増の709万袋、エクアドルは175万袋で安定した水準を維持した。

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Apr-20	108.91	161.92	154.52	111.22	63.97	115.55	54.40
May-20	104.45	154.96	149.84	101.69	64.53	107.54	54.67
Jun-20	99.05	147.16	141.52	92.56	64.62	99.50	54.77
Jul-20	103.66	153.38	146.78	97.96	67.69	106.20	57.92
Aug-20	114.78	167.22	163.25	111.79	72.68	120.98	62.89
Sep-20	116.25	168.36	166.56	113.81	72.77	122.08	63.35
Oct-20	105.85	154.28	152.06	100.37	68.36	110.70	59.14
Nov-20	109.70	161.21	150.73	106.41	72.38	115.48	62.82
Dec-20	114.74	170.44	157.81	114.96	72.04	124.46	62.41
Jan-21	115.73	173.42	160.69	116.69	70.71	127.59	60.54
Feb-21	119.35	176.96	166.43	120.06	73.37	129.69	63.07
Mar-21	120.36	177.49	167.05	122.16	73.86	131.72	63.90
Apr-21	122.03	181.70	168.65	124.18	74.47	134.77	63.76
% change between Mar-21 and Apr-21							
	1.4%	2.4%	1.0%	1.7%	0.8%	2.3%	-0.2%
Volatility (%)							
Apr-21	7.3%	6.9%	7.2%	9.3%	7.1%	9.3%	7.6%
Mar-21	7.7%	7.1%	7.8%	9.7%	8.2%	9.3%	9.1%
Variation between Mar-21 and Apr-21							
	-0.4	-0.2	-0.6	-0.4	-1.1	0.0	-1.5

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
Apr-20	7.40	50.70	97.95	43.30	90.55	47.25	61.15
May-20	5.12	53.27	90.43	48.15	85.31	37.16	52.87
Jun-20	5.64	54.60	82.54	48.96	76.90	27.94	44.73
Jul-20	6.60	55.42	85.69	48.82	79.09	30.27	48.28
Aug-20	3.97	55.43	94.54	51.46	90.57	39.11	58.09
Sep-20	1.80	54.55	95.59	52.75	93.79	41.04	58.73
Oct-20	2.22	53.91	85.92	51.69	83.70	32.01	51.56
Nov-20	10.48	54.80	88.83	44.32	78.35	34.03	52.66
Dec-20	12.63	55.48	98.40	42.85	85.77	42.92	62.05
Jan-21	12.73	56.73	102.71	44.00	89.98	45.98	67.05
Feb-21	10.53	56.90	103.59	46.37	93.06	46.69	66.62
Mar-21	10.44	55.33	103.63	44.89	93.19	48.30	67.82
Apr-21	13.05	57.52	107.23	44.47	94.18	49.71	71.01
% change between Mar-21 and Apr-21							
	25.0%	4.0%	3.5%	-0.9%	1.1%	2.9%	4.7%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2016	2017	2018	2019	2020*	% change 2019/20
PRODUCTION	160 608	167 868	170 322	168 833	169 633	0.5%
Arabica	99 940	98 187	99 919	96 930	99 423	2.6%
Robusta	60 668	69 680	70 403	71 903	70 211	-2.4%
Africa	16 839	17 461	18 579	18 681	18 539	-0.8%
Asia & Oceania	47 930	52 203	48 173	49 478	48 954	-1.1%
Mexico & Central America	20 322	21 752	21 636	19 557	19 544	-0.1%
South America	75 516	76 453	81 934	81 118	82 596	1.8%
CONSUMPTION	158 781	161 377	168 492	164 202	166 346	1.3%
Exporting countries	48 334	49 686	50 245	49 982	50 666	1.4%
Importing countries (Coffee Years)	110 447	111 691	118 247	114 220	115 680	1.3%
Africa	10 702	11 087	12 017	12 024	12 242	1.8%
Asia & Oceania	35 068	34 903	36 472	36 002	36 503	1.4%
Mexico & Central America	5 193	5 273	5 431	5 327	5 364	0.7%
Europe	52 148	53 251	55 637	53 372	54 065	1.3%
North America	29 559	29 941	31 779	30 580	30 993	1.4%
South America	26 111	26 922	27 156	26 898	27 180	1.0%
BALANCE	1 827	6 491	1 830	4 631	3 286	

In thousand 60-kg bags

*preliminary estimates

As the figures in this table are on a coffee year basis, these estimates will vary from the figures published in Table 1 of Coffee Production Report (<http://www.ico.org/prices/po-production.pdf>), which contains crop year data. For further details, see the explanatory note at the end of this report.

表 4: 輸出国の総輸出力

	Mar-20	Mar-21	% change	October-March		
				2019/20	2020/21	% change
TOTAL	11 661	11 944	2.4%	63 198	65 402	3.5%
Arabicas	7 063	7 061	0.0%	38 749	41 814	7.9%
Colombian Milds	1 066	1 229	15.3%	7 559	7 754	2.6%
Other Milds	2 460	2 501	1.7%	11 352	10 404	-8.3%
Brazilian Naturals	3 536	3 331	-5.8%	19 838	23 655	19.2%
Robustas	4 599	4 883	6.2%	24 450	23 588	-3.5%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/rade_statistics.asp

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	May-20	Jun-20	Jul-20	Aug-20	Sep-20	Oct-20	Nov-20	Dec-20	Jan-21	Feb-21	Mar-21	Apr-21
New York	2.01	1.90	1.82	1.45	1.26	1.30	1.40	1.52	1.75	1.92	1.97	2.07
London	2.18	1.99	1.90	1.85	1.85	2.04	2.24	2.31	2.40	2.44	2.50	2.53

In million 60-kg bags

=== 海外情報トピックス ===

2021 年 5 月海外情報トピックスは、4 月に行われた第 129 回 ICO 理事会においてセッチ事務局長が会議開催に際して行ったスピーチについてご案内します。

**Statement by the Executive Director of the International Coffee Organization,
made at the opening ceremony of the 129th Session of the Council.**

第 129 回国際コーヒー機関理事会での事務局長の冒頭声明

スピーチの内容は、ICO が財政的に極めて厳しい状況にあり、その背景として加盟国メンバーからの激しい削減要求があること、止む無く ICO はスタッフの大幅削減を実施していることなどが諸々述べられています。（ここまでの切迫状況に編者も少々驚いた次第です）
なお、理事会議事については改めてご案内する予定です。



ICC 129-3
16 April 2021
English only

E

International Coffee Council
129th Session
Virtual Session
15 and 16 April 2021
London, United Kingdom

Statement by the Executive Director of
the International Coffee Organization,
made at the opening ceremony of the
129th Session of the Council

Mr John Muldowney, Chair of the International Coffee Council,
H.E. Ivan Romero-Martinez, Vice-Chair of the Council

Excellencies, distinguished delegates, colleagues, observers, ladies and gentlemen,

Welcome to the 129th Session of the International Coffee Council, which is again being held online for reasons of which we are all aware.

Today marks 441 days since the World Health Organization declared the novel coronavirus outbreak a public health emergency of international concern, the WHO's highest level of alarm. These intervening months have been very difficult for all of us. I myself have not been spared its impact and was hospitalized for several weeks at the beginning of the year; so I know, by personal experience, the havoc coronavirus can wreak. In addition, ICO Members in Central America were particularly hard hit by two destructive hurricanes at the end of last year. I send my deepest condolences to all those who have lost loved ones and friends to this devastating disease and to these tragic climatic disasters.

In London, the headquarters of the ICO, we see encouraging signs that the worst effects of the pandemic may be behind us. An important demonstration is that on Monday, the government permitted the reopening of that beloved British institution, the pub. I hope that those who drink their pints of beer will follow with a refreshing cup of coffee.



原文は以下 URL で入手可能です。（無料）

<https://www.ico.org/documents/cy2020-21/icc-129-3e-statement-ed.pdf>

会員各位のご参考となれば幸いです。

武藤（参与）



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

ICC 129-3

16 April 2021
English only

E

International Coffee Council
129th Session
Virtual Session
15 and 16 April 2021
London, United Kingdom

第129回国際コーヒー機関理事会
事務局長冒頭声明

国際コーヒー機関理事会 議長 Mr John Muldowney 殿

国際コーヒー機関理事会 副議長 H.E. Iván Romero-Martinez 閣下

閣下、貴賓代表団、同僚、オブザーバー、御来賓各位

第129回国際コーヒー機関理事会へようこそ。新型コロナウイルスのため再びオンラインで開催しています。

今日現在、世界保健機関が新しいコロナウイルスの発生を国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態と宣言してから441日を迎えます。これは、WHOの最高レベルのアラームです。この間、私たちは皆非常に困難な時を過ごしました。私自身、新型コロナウイルスに感染し年初に数週間入院しました。ですから、個人的な経験として、コロナウイルスは大惨事を招くことを私は知っています。さらに、中央アメリカのICO加盟国では、昨年末に2つの破壊的なハリケーンによって特に大きな打撃を受けました。この壊滅的な病気とこれらの悲劇的な気候災害によって、愛する人や友人を失ったすべての人々に心からお悔やみを申し上げます。

ICOの本部が所在するロンドンでは、パンデミックの最悪の影響は過ぎつつあることを示す兆候が見られます。重要な事象としては、月曜日に政府は英国で最も愛されている場所とも言うべきパブの再開を許可したことがあります。私としては、ビールを一杯飲む人には、口直しにコーヒーを飲んでもらいたいと思います。

しかしながら、まだ楽観は出来ません。WHOは今週初め、世界で約8億回のワクチン接種済みにもかかわらず7週間連続で症例が増加し、この4週間にも死亡者が増加していると発表しました。明らかに、我々はまだ危機的状況から脱してはいません。

では、世界のコーヒーセクターの現状に目を向けましょう。

ICOの業務に関しては、ホスト国である英国政府の防疫ガイドラインに厳密に従っています。388日前の昨年3月23日以来、公式のガイダンスは、可能であれば自宅で仕事をするテレワークとなっています。この指示は少なくとも6月12日まで続くと予想されますが、222グレイズインロード（ICOの所在地）に戻るため慎重に準備を進めています。また標準的な実務慣行として私たちは、ロンドンを拠点とする他の国際機関と相談し連絡を取り合っています。

ICOはどこへ行ったのか、コーヒー豆の値段はどうか、パンデミック前のレベルに戻っているのか、パンデミックは生産、貿易、消費、収益にどのように影響しているのか、価格が上昇した場合には、ボラティリティと不確実性の増大に直面するのか、これらの事象はICOにどのように影響するのでしょうか。

ICOは、コーヒーに関するデータの参照先またベンチマークとして、業界、貿易、国際機関および学界から認知されています。さらに、コーヒーを専門とするメディアだけでなく、フィナンシャルタイムズ、ブルームバーグ、ウォールストリートジャーナル、BBCなどのより一般的な機関も毎日のようにICOを参照言及しています。同様に、世界銀行、国連、およびその関連組織などの国際機関は、学術機関や研究センターに加えて、ICOと緊密に連携し協業する関係にあります。

にもかかわらず、現時点において、ICOに対する大きな期待に対して、ICOに充当されている様々なリソースが見合うものとなっているのか、真摯に顧みる必要があると痛感しています。

たとえば、ICOは、コーヒー業界によって、信頼できる重要な議論の場として認識されています。この認識の最も重要な事例がコーヒー官民タスクフォース（Coffee Public Private Task Force、以下、タスクフォース）です。すでに初期の立上げ時期を過ぎ、発展充実の時期を迎えています。タスクフォースは極めて有意義な取組ですが、外部の支援無しではここまで到達出来なかったことを自覚する必要があります。ICO加盟国（ドイツとスイス）と民間部門からの財政的援助、専門家のボランティア支援で、私たちはプロのコーディネーターを雇い、技術的なワークストリー

ムを管理し、提案されたソリューションの実現可能性を研究するエキスパートを短期間採用することができました。しかし、外部からの資金提供が無ければICOと世界のコーヒーセクターの将来に関するこの重要な取組も中断せざるを得ません。

もう1つの例は国連食糧農業機関（FAO）との関係です。私たちはFAOとフォーラム参加を含めた新しい重要な覚書草案について協議しています。合意に達したときに合意署名のためにローマを訪問するための財政的リソースさえない場合、どうすればこの関係を強化できるでしょうか。

今年は「若者とのコーヒー」を視点としたICOの年度テーマに対するサポートも実施しています。今週の初め、ICOがYouth20に参加したことをプレスリリースしました。最高の国際フォーラムであるG20のエンゲージメントグループであるYouth20は、コーヒーを主要セクターとして紹介し、農村人口、農業、産業、サービスセクター、にのってのコーヒーの重要性について世界の主要国の注意を喚起するものです。しかし、利用可能なリソースを限られており、如何にしたらこのようなアクティビティを引き続きサポートできるでしょうか。

昨年10月、2020/21コーヒー年度の運営予算が承認された際に私は、その水準は緊急避難的なレベルであり持続可能ではないとの警鐘を鳴らしました。年度のちょうど半分を過ぎたところで、その結果は組織で働く私たち全員にとって非常に明白です。現在の運営を継続することはできません。私たちには情熱と献身がありますが、私たちのエネルギーは急速に枯渇しており、川の濁流をナビゲートして向こう岸のより安全な場所に到達できるかどうか疑問に思っています。より多くのリソースがなければ、持続可能で、包括的で、回復力があり、繁栄するコーヒーセクターの構築を支援するために、迅速かつ効果的に泳ぐ必要があるにもかかわらず、「遅い犬かき」することしか出来ません。

一年後には私の後任者の選出が行われますが、私は任期の最終日まで、この組織とコーヒーセクターのために奮闘を続けることを誓います。私はコロナウイルスに感染し集中治療室で生死の間を3週間ほど彷徨いました。しかし、幸運にも生き延び、新たなエネルギーとともに、荒れ狂う川の向こう岸にICOを連れて行きたいという願いを持って戻ってきました。

私にとって最も重要なことのひとつにICOスタッフの健康と幸福があります。如何なる組織においてもスタッフは最大の資産であると言いたい。ICOは、他の同種機関と同様に、知識をベースとする組織です。私たちは専門家を必要とし彼らを維持する必要があります。必要とされるのは強力なICOであり、分担拠出されるペニー（100分の1ポンド、少額の意）は、卓越し献身的なスタッフ達によってもたらされる最高水準のサービスをICO加盟国メンバーに提供するために使用されるのです。

ICOは国際機関として多様で優れた才能ある若い人材を採用してきましたが、組織運営の不安定さ、改善に向けた柔軟性の低下、業務負荷の増加、加盟国メンバーによるコミットメントの欠如、等を背景に彼ら彼女らは退職し、ICOよりも信頼性が高く公平な雇用主のいるより安全な職場環境に転職しています。

先ほどの理事会副議長のスピーチの中で、組織内で最も長く勤務してきたあるスタッフの強制的退職について言及がありました。彼女は私と緊密に仕事をしてきたので、心から残念に思っていますが、組織が直面している問題は特定の個人の域を超えています。過去12か月で5人のスタッフが退職しています。私は彼ら彼女らとの話をし退職理由が分かりました。一部の人がICOを「夢の仕事」と呼んでいたことに感動しましたが、ICOを取り巻く不確実性により、彼ら彼女らは辞任するという難しい決断を迫られたのです。その一方、興味深いこととして、パンデミックにもかかわらず、彼ら全員が新しい仕事を見つけることに成功しています。

専門的知識を持つ人材を失い、投資の受け入れが困難な中で、残ったスタッフは現在、ポストが廃止され退職した人々の、また将来の不安から辞任した人々の仕事をカバーするために週末と夜を費やすことを余儀なくされています。

我々が改めてリクルートを開始する際に提示できるものは、不確実性、不安定、以前は2〜3人で実行されていたタスクを1人でカバーすること、これらは現実離れしています。ICOのオペレーション部門にはかつて、エコノミストが3人、統計担当が3人、事務局と渉外コミュニケーション担当が3人の専門家がいきました。しかし、いまは、3つの領域のすべてを3人で賄っています。以前の同じレベルの、あるいはそれ以上のサービスを提供することを如何したら期待できるでしょうか。

今、私たちはまったく新しい統計チーム、エコノミスト、事務局役員を採用しなければなりません、候補者に次のように言うことが出来るでしょうか。

1年以内にあなたの給料を支払うためのリソースがあるかどうかはわかりませんが、海外からお越しの場合はご自身でチケットをお支払いいただきます、と。

また、他の国際機関あるいはICCOやISOなどに職を得れば真っ当な処遇を得られるでしょうが、私たちICOには難しいかも知れず、以前は3人でやっていた仕事をする必要があります、と。

事務局長と上級管理職に、秘書はおらず自分で自分の秘書業務をしなければなりません。これは賢明なリソースの割当でしょうか。

この理事会を設営することでさえ大きな困難がありました。同じ仕事をしていますが、3年前に存在したスタッフの半分しかいないからです。それは本当に難しい仕事でした。理事会および関連する会議に直接関与している加盟国メンバーは、これを良くご承知だと思います。私たちは昼、夜、週末も働き続けています。

事務局長として、私は自分の所見を率直に皆様と共有する責任があります。今後もスタッフと私は誠実に業務を遂行していきます。この場を借りて、財政的制約により多くの熱意ある同僚が去る中で、残るICOスタッフの勤勉さ、創造性、熱意に感謝したいと思います。しかしながら、もし私が、すべてが順調でこの状況が持続可能であるかの如きふりをした場合、私は職務に失敗するでしょう。それは許されません。加盟国メンバーが、適切な判断に至ることに待ちたいと思います。

親愛なるジョン議長、大使閣下、ご列席の皆様、

ここで、組織の成果に話を戻しましょう。

後ほど、私たちがどのように民間セクター、NGOコミュニティ、G20との関係構築しているかをお見せします。民間セクターをテーブルに招きたいという皆様の希望は現実的なものです。コーヒー業界のリーダーたちは、政府の代表であるあなたと一緒に座り、共通のビジョン、ソリューション、リソースを見つけるために協力して取り組んでいます。

数か月以内に、G20フォーラムにおいてコーヒーについて提起がなされます。世界のリーダーに示し、コーヒーバリューチェーンのすべての利害関係者が注意、支援、連帯を必要としていること、そして誰もがコーヒーの栽培、取引、変革、提供によって繁栄できることを示します。これは大きな革新的な機会となります。

ICO組織には新しいメンバーを招き入れる必要があることを忘れていません。私たちホストである英国政府は現在、ICOのメンバーです。英国の支援を借り、米国がICOに復帰するよう説得したいと思っています。パンデミックが発生する前に、私たちは韓国とナイジェリアをICOファミリーに加えるため交渉を進めていました。一方、世界最大の人口を抱え、コーヒーの有望な市場である中国も忘れてはなりません。私たちは、これらすべての潜在的な新会員への取り組みを再開します。

しかしながら、既に述べた通り、私たちは多くのリソースを切実に必要としています。皆さんのコミットメントを示して頂きたい。ICOで一緒に働くことは代えがたい見せてください。民間セクターと開発パートナーの関与と参加は、コーヒー農家とコーヒーセクターを支援するために絶対に必要です。

加盟国メンバーにおかれては、信頼できる統計報告をタイムリーにICOに提出し、タスクフォース活動と連携し、国際コーヒー協定の将来に関するワーキンググループ委員会に積極的に参加し、期限内に拠出分担金を支払うという義務を果たして頂きたい。ICOとその有形および無形の便益を最大限に活用し、あなたの国、生産者、労働者および消費者のためにこれらを実行してください。

ICOに対する責任感と一体感が広く共有され、この第129回国際コーヒー評議会が成功裏に終了することを確認しています。
ありがとうございました。